



三木高大 自治会新聞

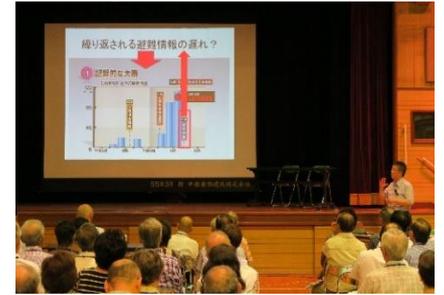
平成 29 年 10 月号 (No137)

発行 三木市高齢者大学学生自治会
発行責任者 自治会会長 小林 敏之
編集者 自治会新聞編集委員会
発行日 平成 29 年 10 月 3 日
<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>

9月の教養講座から

阪神淡路大震災・東日本大震災に学ぶ
講師：兵庫県広域防災センター
防災教育専門員 田中 健一 様

近時、未だ経験したことのないような凄まじい自然災害が我々を取り巻いている。このような状況を、地球温暖化気候変動という人類最大の危機に瀕していると唱える学者も多い。我々がかつて経験した未曾有の大災害、阪神淡路大震災・東日本大震災を通じて学んだ重要なポイントは、「自助」防災の基本はとにかく自分、次に「共助」みんなで手を携えてという事である。すなわち、先ず自分が助からないと他の人を助けることすら出来ないのである。しかし、災害時に避難しない住民がなんと多い事か、それが更なる被害の増大を招いている。



どこで何が起こるか判らないという最近の状況下で、いかに被害を減らすか、そのためには経験と教育が必要であると講師は指摘する。しかし、防災教育そのものリアリティがなくマンネリ化しているために、受講者の減少を招きひいては効果そのものも上がらないという悪循環を招いている。我々地元単位組織で考えるにしても限界があり、また能力も無い。数十年に一度という大災害、これは皆が初めての経験ということなのであり、語り継ぐべき防災教育を実りあるものにしなければならないこと、そのため例えば情報が集まる県の防災センターからの発信の重要性など、今回の受講を通じて切に考えさせられた。

2年1班 井口 實嬉信

自治会からのお知らせ

『平成 30 年度自治会役員候補者
正・副班長候補者等の選出』

自治会規約6条及び7条に従い各学年の正・副班長により構成する役員推薦委員会を立ち上げ「平成 30 年度自治会役員候補者」並びに各学年の班員により「平成 30 年度正・副班長候補者」を選出し、下記の通り報告をお願いします。

提出期限 平成 29 年 11 月 2 日 (木) 登校日

提出先 統括総務 西畑 種嗣 (本人、又は事務室統括総務トレーまで)

*併せて、平成 29 年 12 月 5 日 (火) 登校日に提出期限「平成 30 年度自治会全校行事実行委員」の選出準備もよろしくをお願いします。

自治会会長 小林 敏之

秋季清掃活動のご案内

「まなびの郷みずほ」の清掃活動

空の色はすっかり秋らしくなりました。皆様の参加により、学習やクラブ活動でお世話になっている我らが学び舎を、心をこめてきれいにしたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。



1. 実施日時：平成29年10月20日（金）9時30分～11時30分

2. 作業場所と担当区分

(1) 校舎1階・2階の清掃・・・高大生 雑巾（タオルも可）1枚持参

(2) 屋外の清掃、ゴミ拾い（雨天中止）・・・高大生 除草用コテ等持参

(3) 体育館の清掃・・・・・・大学院、学友会

3. 通学バス 登校8時40分始発 下校11時45分発

秋季清掃活動実行委員長 3年3班 高橋 博男

秋季研修旅行のご案内

「美味しい鯛が待っています♡」

爽やかな秋になりました。

春と秋の研修旅行が秋の研修旅行に統合され、旅行社5社からの色々なプランを出して頂いた中で皆様のアンケート結果、次のような内容となりました。

日時：平成29年11月10日 金曜日

各地乗車場所より三木文化会館駐車場集結、各学年用車に乗り換え出発⇒西淡 三原IC⇒淡路人形座⇒鳴門観潮クルーズ⇒うずしお温泉「うめ丸」にて鯛の活け造り会席料理と温泉入浴⇒たこせんべいの里⇒淡路ハイウェイオアシス⇒文化会館駐車場にて帰路バスに乗り換え乗車場所で解散。

見どころもいろいろあり昼食は、美味しくてお腹いっぱい、温泉も気持ちよかったと言ってもらえるように実行委員一同お手伝いしますので、皆様と一緒に楽しんでください。

旅行の葉は11月7日の登校日にお渡しいたします。

秋季研修旅行実行委員長 3年4班 岩枝 俊一



ク ラ フ 紹 介

園芸クラブ

自然相手の園芸クラブは在校生・OBをあわせて20人たらずで活動しています。

梅雨明けから、毎日の水やり当番、週1回の活動日（水曜日）、暑い日は大変ですが、クラブ員たちと世間話をしながら、草取りや肥料やり、種まき、苗植えなど、また個人畝の手入れなどを行っています。



収穫した野菜は、市販されている物よりは虫食いはありますが、薬も少なく安心安全に食べることが出来ます。7月19日の収穫祭はOBの人達をお呼びして、焼きそばや収穫した野菜、スイカなどの抽選会で一日楽しく過ごしました。そして、9月13日は研修旅行と、忙しい毎日です。9月からは白菜、大根、キャベツなど、2月の大学祭での販売用の冬野菜の植付けも始まります。

これからは涼しくなりますので、土いじりや野菜作りに興味のある方、新しい仲間を募集しています。野菜作りを実践してみませんか！初心者には基礎から指導します。

心より入部をお待ちしています。

園芸クラブ部長 2年3班 黒木 政昭

民謡踊りクラブ

私たち民謡踊りクラブは「三木市高齢者大学民謡踊りクラブ」の名称のもとで11年間活動してきました。現在の部員はOBを含めて23名で頑張っています。

クラブの活動は大学祭、カラオケクラブ発表会の友情出演、施設への訪問、地区の盆踊り大会等たくさんのボランティア活動にも参加させて頂いています。また、今年も高齢者



大学の大学祭に向けて4曲「会津磐梯山」「里おどり」「苗羽踊り」「鹿島一声浮立」各地の有名な民謡踊りの練習に励んでいます。出演の時の衣装等は、1枚のユニホーム的な



着物を踊りに合わせて、みんなでアイディアを持ち寄り、柄を縫付けたり張り付けたりと色々工夫を凝らして費用をあまり掛けずに、準備の時からクラブ員同士で協力し合いながら和気あいあいと楽しんでいます。

楽しいメンバーばかりです。どうぞ皆様の入部をお待ち致しております。

民謡踊りクラブ 4年3班 隅谷 春代

ひろば

楽しい大人のクラブ

【三木カスタムナイフギルド】

平成 29 年 9 月 3 日 午前 9 時 30 分、サンライフ前の駐車場に三木カスタムナイフギルドの面々が主催者の要請によりサンライフフェスティバルに参加しました。

三木市高齢者大学のクラブからの、太極拳、社交ダンスは演技を披露できるが、私たちには何ができるのか。私たちはナイフ作家の集まりである。店舗を出して作品を販売することはできますが、営業行為は好ましくないという趣旨のフェスティバルです。

私は受付で 52 名の方々に対応し、持ち込まれた包丁は約 100 丁でした。

時間の制約もあるので手間の掛かるのは、お断りして、最終的に 91 丁をフェスティバルの開催時間中に研ぎあげるのです。全てボランティアで無料です。サンライフ前駐車場が研ぎ人の仕事場になりました。居合い、合唱など舞台の華やかさと比べて地味に 1 丁ずつ丁寧に研ぎ、切れ味を確認し、包装していく。受付番号が消えている、順番通りでないよ、と申し出があり受付も結構大変でした。この祭りの他に三木金物祭りでは、研ぎ指導をボランティアとして行っています。

研ぎを指導するのは、包丁が砥石のどこに当たっているか解らないといけないし、その説明は大変なものです。このボランティア活動ができるのは、本会名誉会長の大東氏の尽力です。同氏は、三木で知られた小刀の製造者でしたが、定年を期に当時珍しかったカスタムナイフを製造し、三木カスタムナイフギルドを設立。初代会長の重責を果たした方です。

ナイフを作りたくて、2 代目会長田中氏の時に私は入会しました。しかし、それが簡単にはいきません。ナイフの形に鋼材を切り出す、ドリルと金キリ鋸で大体切ってから、細かくヤスリ等で形を整える、木か動物の角、骨などでハンドルをつける、皮または木材で鞘を作り、ナイフが完成するのです。金工、木工、皮細工が詰まった工芸品で、物づくりの基礎講座が 3 講座以上となります。いつまでも修行の場で、そんな人々の集まりなので、毎月 1 回の例会も、素面でナイフ、新年会もナイフショーの打ち上げもビール片手にナイフが中心の話題で盛り上がります。もちろん親睦会でもナイフの話が中心で、ナイフに魅せられ、ナイフを愛し、ナイフをコレクションする。三木カスタムナイフギルドの会員達と、本当に素晴らしい仲間に来て楽しい大人のクラブ活動を今日も行っているのです。

